

2017（平成 29）年度 第 2 回 相談支援体制に係るワーキンググループ活動報告

日 時	2017（平成 29）年 11 月 1 日（水） 11 時 00 分～12 時 30 分
場 所	寒川町役場電算会議室
出席者	中野委員（座長）、牧野委員、小川原委員、山本委員
事務局	木内、竹内、塩原（寒川町福祉課） 佐藤、斉藤（ゆいっと） 安田、有田（すまいる）
議事	<p>1. 前回のワーキンググループの振り返り</p> <p>座長の進行により、前回のワーキンググループの検討内容について確認した。</p> <p>2. 検討事項</p> <p>（1）アンケートの返信方法・時期等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アンケートの結果のみをまずはお返すのが良いか？分析等を加えたほうが良いのか？ ●自治会役員にも様々な考え方があり。そのため、結果のみ提示するよりも、ディスカッション等の機会があると良い。分からないからこそ偏見などが生じる可能性がある。言葉を交わす、顔を合わせて交流することが大切だと思う。 ●アンケート実施から 1 年以上経過。分析等を加えなければ、なぜ時間が経過したのか？という印象を受けるのでは？分かりやすい表現でまとめ等を加える必要がある。 ●こちらから出向いてアンケート結果を報告する必要がある。 <p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自治会・民生委員の方へは、11 月定例会にてアンケート結果をお返すことに承認いただき、2 月に報告の機会を持てるよう、各団体の方に日程などの相談を進める。 ●報告内容は、再度ワーキンググループをもって検討し、1 月の自立支援協議会で全体に諮り意見をいただいて完成させる。 ●定例会などがある団体さんについては、2～3 月の会で報告・説明ができるよう、計画をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・自治会：自治連定例会 2/21（水）9:00～ ・民生委員：民生委員 // 2/16（金）13:30～ ・教員：校長会・教頭会等 ・保育園・幼稚園：園長会 ・寒川病院：中野氏より ・子育て支援員・保健師：福祉課より <p>報告会参加者 森会長、ワーキンググループ委員、事務局で分担することとする。</p> <p>（2）相談支援のつながりを作るための企画について</p> <p>（その他の団体および町民の方とのつながり作りについて、前回の話し合いより、交流会のようにつながりを持てる場・企画を検討）</p>

案1) 平成30年度の研修会として、アンケート回答団体と町民を対象とした障がい児者相談支援体制に関する事例発表（つながりを持って支援した結果、支援が成功した事例等）を行う。

案2) 寒川町内で暮らしている障がい児者がどのような支援体制で暮らしているか、当事者の暮らしぶりを紹介する。

案3) アンケートの結果から気になる事例を抽出し、モデル事例検討会を開催する。アンケート回答団体で該当する団体に声掛けを行い、研修的な要素の事例検討会を公開で行う。

- 企画の対象者を不特定多数とするのか？ワーキングを拡大した形とするのか？
- 不特定多数に対して研修会を行う場合、人によって興味の有無、理解度等にばらつきがある。そのため、グループ分けを行う必要があるのでは？
- 1回ではつながりを作ることは困難。定例的に行う必要がある。
- 最終的には、お互いが持っている課題について意見交換出来る場となると良い。

【まとめ】

- アンケート結果の報告会を機会に、その後も継続的・定期的につながりを持てる企画を検討し、実施していく。実施内容については、継続検討とする。

【次回ワーキンググループ日程】

- 平成29年11月27日（月）13:30～15:00（寒川町電算会議室にて）